



道づくりだより



(主) 田所国府線 有福温泉工区が開通しました！

～ Contents ～

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------|
| 1. (主) 田所国府線 有福温泉工区が開通しました！ | 道路建設課
浜田県土整備事務所 ... P. 1 |
| 2. 鹿子原農道の整備が完了しました！！ | 農村整備課 ... 2 |
| 3. 来居港 2号臨港道路
知夫里大橋の耐震補強をおこなっています | 港湾空港課
隠岐支庁県土整備局島前事業部... 3 |
| 4. 大田・静間道路、静間・仁摩道路の整備状況について | 高速道路推進課 ... 4 |
| 5. 「道路ふれあい月間」推進標語決定のお知らせ | 道路維持課 ... 5 |
| 6. 益田市自転車ネットワーク計画について | 益田市建設部土木課 ... 6 |

(主) 田所国府線 有福温泉工区が開通しました！

主要地方道田所国府線は、邑南町上田所の国道261号を起点に、浜田市下府町の国道9号に至る幹線道路です。

この内、有福温泉町～下有福町にかかる約1.2kmを有福温泉工区として、平成13年度から事業を進めてきましたが、この度、令和5年4月22日に全線開通し、同日丸山知事出席のもと開通式が開催されました。

本事業区間は現道の道幅が狭く、線形も悪いことから、車のすれ違いが困難な箇所となっておりましたが、今回の開通により、この解消を図るとともに、歴史有る有福温泉に相応しい玄関口となりました。



開通式



【テープカット】

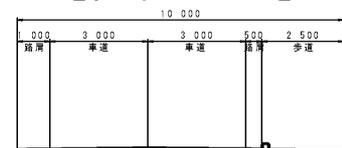


【知事祝辞】

【事業概要】

事業期間	H13～R4
事業費	約30億円
延長	1220m
幅員	全幅10.0m(車道6.0m)
構造物	有福温泉大橋 橋長73.0m

【標準断面図】



これまでの取組

本工区の起点側、有福温泉の玄関口となる交差点周辺は「有福温泉周辺整備計画（令和2年7月、有福温泉活性化検討委員会 発行）」に基づき、駐車場の整備、カラー舗装、ボード照明、案内看板の設置など温泉街へのアプローチ空間として修景に配慮した整備を行いました。



【検討委員会状況】



【修景に配慮した整備】

かねこばら
鹿子原農道の整備が完了しました!!

本農道は、島根県西部の邑南町矢上地区に位置し、鹿子原線及び鹿子原高水線と接続する延長587mの農道です。農道としての役割の他に地域住民の生活道路としても活用されています。

整備前は、幅員が3mと狭小であり、車両同士のすれ違いや農業用機械の搬入に支障がありました。このため、平成27年度から幅員を5mに拡幅する整備に着手し、このたび、用地を提供頂いた地権者ならびに関係者の方々のご協力により、令和4年10月に整備が完了しました。

この整備により、農業用機械の搬入、救急車等の緊急車両や福祉車両等の通行も容易となり、車両の走行性、安全性も向上しました。

<事業概要>

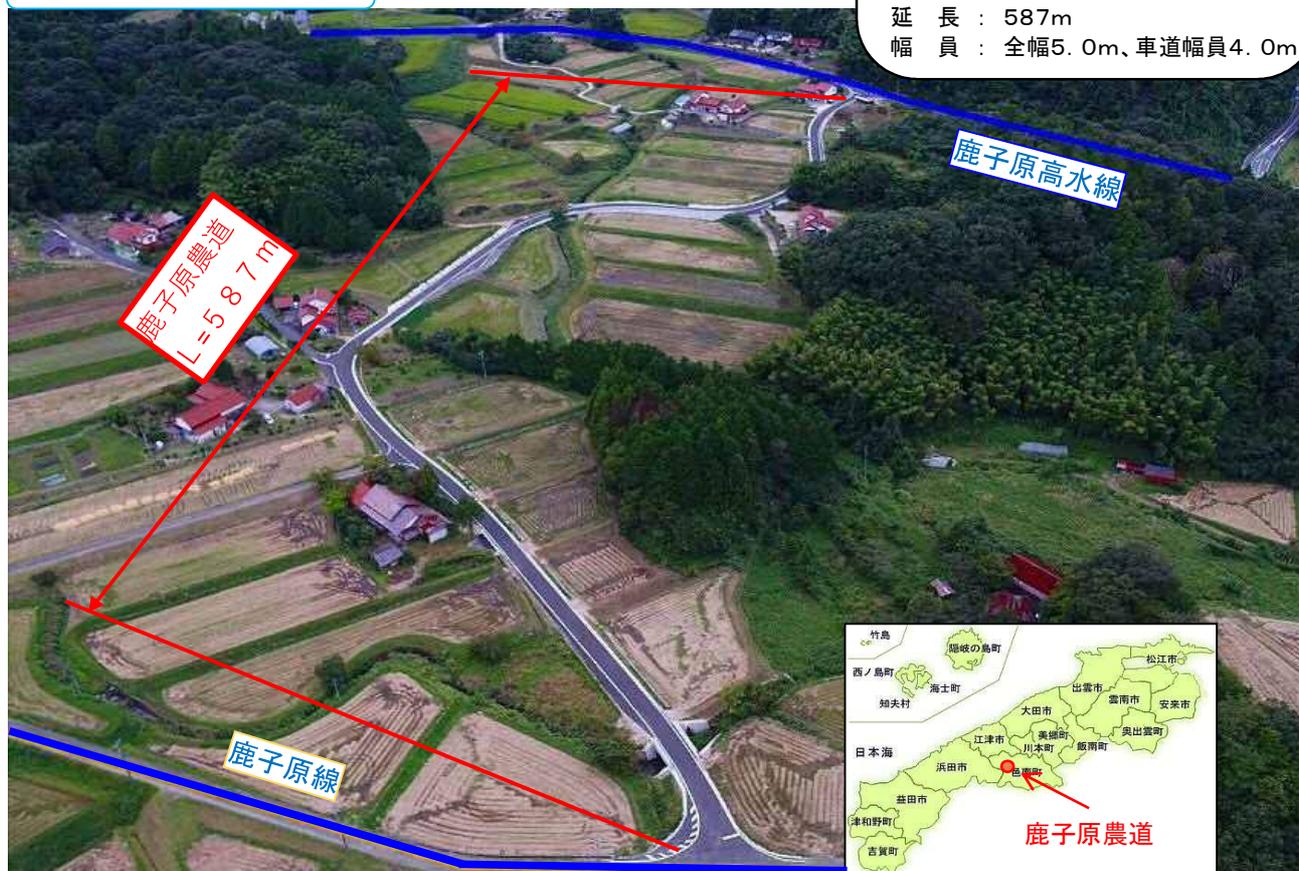
事業名：農山漁村地域整備交付金
(中山間地域総合整備事業)

地区名：邑南地区

延長：587m

幅員：全幅5.0m、車道幅員4.0m

鹿子原農道 位置図



整備状況



整備前の現道



整備後の農道

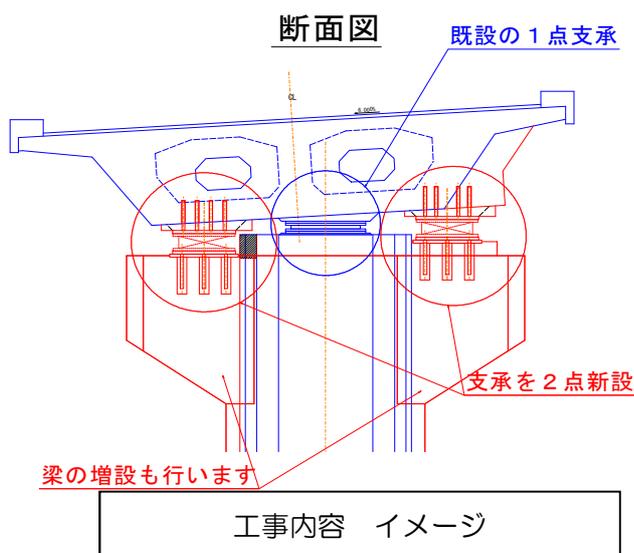
来居港 2号臨港道路 知夫里大橋の耐震補強をおこなっています

知夫里大橋は、隠岐郡知夫村の玄関口である来居港のフェリー岸壁から、県道知夫島線を連絡するため、平成8年に架橋された橋長180mの一重ループ式の道路橋です。竣工後23年が経過したことから、耐震性能の向上と長寿命化を図るため、平成30年度から事業に着手し、令和9年度の完了を目指し工事を行っています。

本事業では地震により落橋することのないよう、免震支承を用いた2点支承化や橋脚補強、横変位拘束構造の追加などを実施します。

事業箇所がフェリーターミナル周辺となり、工事中はご利用の方にご不便をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

事業箇所



大田・静間道路、静間・仁摩道路の整備状況について

今年度開通の見通しが示されている「大田・静間道路」、「静間・仁摩道路」の現在の整備状況をご紹介します。

国土交通省松江国道事務所において、今年度内の開通に向け、鋭意整備を進められており、事業進捗率は以下のとおりです。

□事業進捗率(令和5年3月31日時点)

①大田・静間道路：約86%、②静間・仁摩道路：約91%



令和5年度開通予定

①大田・静間道路【大田中央・三瓶山IC～静間IC(仮称)】

大田・静間道路 延長5.0km

- 1. 長久地区舗装工事 概要：舗装 延長約30m
- 2. 静間地区舗装工事 概要：舗装
- 3. 静間地区法面工事 概要：道路改良 令和5年6月完成

Other features on map: 壺水高架橋(延長約20m), 長久高架橋(延長約40m), 静間川橋(延長約200m), 久手跨線橋(延長約50m), 静間IC(仮称), 大田中央・三瓶山IC, 静間跨線橋(延長約110m), 15,100台/日

②静間・仁摩道路【静間IC(仮称)～仁摩・石見銀山IC】

静間・仁摩道路 延長7.9km

- 1. 五十猛地区舗装工事 概要：舗装
- 2. 大屋地区舗装工事 概要：舗装
- 3. 大屋地区第2改良工事 概要：道路改良 令和5年6月完成
- 4. 大屋地区舗装工事 概要：舗装

Other features on map: 静間高架橋(延長約190m), 五十猛トンネル(延長約1,050m), 静間IC(仮称), 静間跨線橋(延長約110m), 彦浜川橋(延長約230m), 宅野トンネル(延長約1,830m), 大屋高架橋(延長約1,70m), 仁摩・石見銀山IC

「道路ふれあい月間」推進標語決定のお知らせ

◇令和5年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品は次のとおりです

○最優秀賞（3作品）

気持ちいい 道路であいさつ にっこにこ

山梨県 長沼 結那 さん（小学生の部）

この道は みんなをつなぐ 赤い糸

京都府 田中 勇樹 さん（中学生の部）

ゆずりあい ふわり優しさ 積もる道

東京都 河野 喜幸 さん（一般の部）

◎最優秀賞3作品のうち「気持ちいい 道路であいさつ にっこにこ」を今年度の代表標語とします。

○優秀賞（6作品）

【小学生の部】

『安全な 道路がいいな ありがとう』

静岡県 芹澤 星斗 さん

『この道で 泣いておこって 喜んだ』

鳥取県 尾崎 瑠亜 さん

【中学生の部】

『急いでる 待て待て待って 落ち着こう』

福岡県 内村 奏楽 さん

『道ゆずり 少し大人に 近づいた』

兵庫県 谷口 ちよ さん

【一般の部】

『みつけたよ この道 あの道 好きな道』

高知県 市原 利行 さん

『大丈夫 慌てず渡って いいからね』

兵庫県 河合 花歩 さん

◇毎年8月は、「道路ふれあい月間」です。

道路の役割や重要性をあらためて認識し、道路をいつくしむ気持ちをもっていただくため、毎年8月を「道路ふれあい月間」と定めています。この月間中には全国で表彰をはじめとした様々な活動が行われます。

◇「道路ふれあい月間」推進標語とは

毎年1～3月頃に、「道路ふれあい月間」の行事の一環として、国土交通省が広く募集をしています。島根県では、募集期間には県庁道路維持課や各県土整備事務所、市町村役場において広報誌、ホームページなどで応募を呼びかけています。入選作については、ポスターやチラシなど、「道路ふれあい月間」における活動の推進に幅広く使用されます。

計画策定の背景と目的

益田市では、令和2年6月に「益田市自転車活用推進計画」を策定し、サイクルスポーツだけでなく、市民の自転車利用の促進と自転車を活用した地域振興を目指し、益田市ならではの「自転車によるまちづくり」を進めています。

本計画は、益田市自転車活用推進計画に基づき、安全で快適な自転車通行空間を確保し、自転車・歩行者の安全性を確保するため、国県道を含めた面的な自転車ネットワークおよび自転車通行空間の整備方針を定めるものであります。

計画の基本理念と基本方針

益田市自転車ネットワーク路線図

自転車も歩行者・自動車も誰もが安全・快適に利用できる道路空間の創出

基本方針①

益田市の地域特性を踏まえた効果的な自転車ネットワークの形成

特に自転車需要の多い通学路や自転車によく利用される施設・路線を中心に、事故の発生状況などを踏まえながら、自転車ネットワーク路線を選定します。

基本方針②

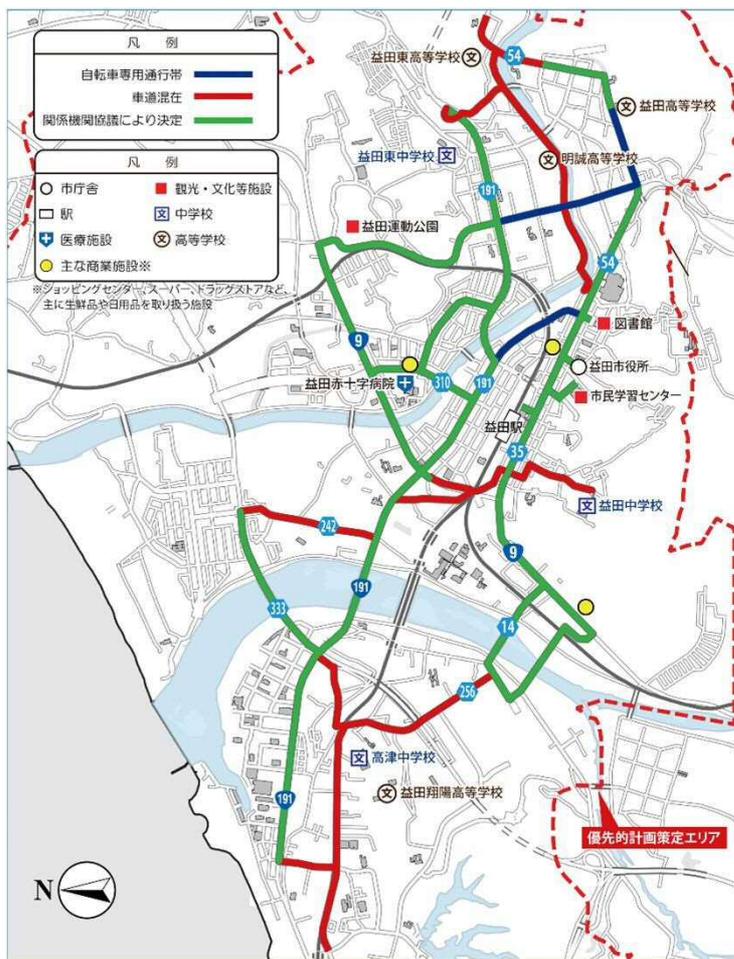
自転車と歩行者の安全性を両立した自転車通行空間の整備推進

自転車通行空間の整備を進めるとともに、自転車が車道を通ることによって自動車と接触するリスクが高まる可能性のある区間などでは、自転車歩行者道も活用しながら歩行者・自転車の安全性を両立できる整備を検討します。

基本方針③

交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり

自転車乗用時の交通ルールの徹底を図り、歩行者の安全を確保するとともに、自動車ドライバーに対しても、自転車に配慮した運転の意識啓発を行い、道路を利用する全ての人々が、他者に思いやりのある行動ができるような環境を醸成します。



計画の目標

計画の期間

目標	実績値(令和元年度)	目標値(令和11年度)
自転車が通行しやすい道路に関する満足度	38%	60%
自動車や歩行者との接触事故・ヒヤリハットの対策に関する満足度	27%	60%
歩行者の立場から見て、歩道を走る自転車を危険だと感じる割合	50%	25%

計画期間は、令和5年度から令和11年度までの7年間とし、最初の2カ年は準備期間としています。

詳細は益田市HPをご覧ください。

<https://www.city.masuda.lg.jp/soshikikarasagasu/kensetsubu/dobokuka/1/8595.html>